

事業の名称（提案種別 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型） 富士見ぞう列車がやってきたコンサート	
団体名 富士見みんなでプロジェクト	担当課名 地域文化振興課
事業の目的	市民参加型のコンサート開催を通じて、文化芸術の振興を図るとともに、市民相互のつながり、多世代の交流による文化度の生育した環境を育むことを基本として、主に、次代を担う子どもたちの感性や創造性を豊かにし、生きる力を大きく育てていくことを目的としている。
役割分担	【団体】 コンサートの実施、企画運営、その他事業実施に関する業務 【担当課】 会場の確保、告知広報などの情報提供
事業の決算額	1,227,846 円（市補助金 200,000 円）

1 協働事業の実施内容について

公募により市民合唱団員を募集・結成し、プロの音楽家・演奏家の指導のもと、コンサートに向けた練習を開始。普段ではなかなか体験できない優れた文化芸術に触れながら、キラリ☆ふじみメインホールでの本番公演を目指した。開催にあたり、キラリ☆ふじみには会場の提供をいただいた。

2 協働事業の実施した結果について

公募で64名（うち市内の子ども24名）の方に参加いただき、プロの音楽家・演奏家の指導のもと、13回練習を行った。公演は富士見市民文化会館キラリ☆ふじみのメインホールを会場に行われ、540名の方にご来場いただいた。多世代交流やプロの音楽家との交流、学校教育以外での小学生への文化芸術のアプローチなど複合的な役割を果たし、文化芸術のすそ野を広げることができた。

本作品のテーマである「平和」についても、改めて考えるきっかけとなり、コンサート来場者に実施したアンケートでは、約9割の方に良かったと回答をいただいた。

3 団体、担当課の評価等 評価：◎よくできた ○できた △課題である

協働事業の評価の視点	団体		担当課	
	評価	コメント	評価	コメント
協働事業を行うにあたり、互いの情報等を共有できたか。	◎	練習など公演までのスケジュール情報を共有できたことで広報活動など十分にさせていただけた。	◎	こまめに連絡を取り合い、練習の実施状況や広報活動状況など、スムーズに情報連携が図られた。
協働事業の目的を共有できたか。	◎	担当課の職員の協力で事業目的を十分に共有し事業を実施できた。	◎	目的の達成に向け、双方が役割を理解し連携したことで目的達成に資することができた。
協働事業の役割分担は適正だったか。	◎	運営として不足を感じなかったため適正であったと言える。	◎	コンサート当日まで、特に問題なく進捗管理ができたため、役割分担は適正であった。
互いを尊重し、対等な立場で協働事業を実施できたか。	◎	担当課の皆様が非常に協力的で事業実施までスムーズにできたことに感謝いたします。	◎	それぞれの役割について、誠意をもって対応したことで、対等な立場で事業を推進することができた。
協働したことにより、他の地域や市民へ広がりがみられたか。	◎	合唱参加者はもとより、コンサート参加者へのアプローチもできた。	◎	合唱団員・来場者双方の反応やアンケート結果からも、文化芸術への興味・関心は広がったものと感じている。

【団体の感想等】

合唱団、観客、プロの演奏家、スタッフ等総勢 650 名近くの方が一つのコンサートに関わってくださったことを考えると、地域の文化芸術振興の観点から、非常に大きな効果があったと感じている。これからもこのような企画を継続していきたい。

【担当課の感想等】

市民ならではの柔軟性と幅広いネットワークにより実施ができた当該事業は、文化芸術に関する複合的な要素を組み込んだ取組みであり、行政だけでは実現が難しいものであったと感じた。改めて、このような取組みをマネジメントできる人材が、本市の文化芸術のすそ野を広げるうえで必要であると感じた。

<コンサートの様子>





富士見市市民提案型協働事業採択事業

富士見市

ぞうれっしやがやってきました コンサート



第1部
朗読

小出隆司 作
箕田源二郎 絵
朗読: 谷 英美

第2部
合唱構成
コンサート

藤村記一郎 作曲
清水則雄 作詞



サーカスから東山動物園にやってきた4頭の象、アドン、エルド、マカニー、キーコは子どもたちの人気者、でも戦争が激しくなり、各地の動物園では動物たちが次々と殺されていきました。そんな中で名古屋の東山動物園では、北王園長さんを先頭に象たちを必死で守り抜いたのです。そして、戦争が終わったあと、生きのびた2頭のぞう、マカニーとエルドを見たいという“子どもたちの夢”を乗せた特別仕立ての「ぞうれっしや」が全国各地から名古屋へと向かって走ったのです。

- 総合プロデューサー: 東海林尚文 ●指揮: 牧野裕史
- ピアノ: 堀家徳子 ●フルート: 隈倉麦 ●ホルン: 山田愛
- 團長: 斎藤敏行(バリトン) ●サーカスの娘: 関仁美(ソプラノ)
- コンサートマスター: 仲恭令
- ソプラノパートリーダー: 横井郁子
- アルトパートリーダー: 大澤敦子
- 男声パートリーダー: 近藤暁生
- 射撃手・軍人: 松田多久生
- サーカスの団長: 岡固まゆみ
- 合唱: 富士見ぞうれっしや合唱団2019
- 合唱指導: 東海林尚文 / 嶋村美樹子
- 練習ピアニスト: 浅香郁子 / 桑澤里彩

2019 **8/31** 土 開演14:00
(開場13:15)

富士見市民文化会館
キラリ☆ふじみメインホール

[チケット料金] 一般1,500円(当日2,000円) 高校生以下500円(当日1,000円)
※路上で鑑賞の未就学児は無料 全席自由

[主催] 富士見みんなでプロジェクト [後援] 富士見市 富士見市教育委員会

[お問合せ] キラリ☆ふじみ 049-268-7788

富士見みんなでプロジェクト 049-263-6951 / 049-232-1753

収 支 決 算 書

採択協働事業の名称 富士見ぞう列車がやってきたコンサート

1 収入の部

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
協働事業補助金	200,000	200,000	
入場料収入	750,000	706,000	入場者 540名
合唱団参加費	450,000	318,000	大人42名 (@7,000円) 小学生24名 (@1,000円)
団体負担分	0	3,846	
合 計	1,400,000	1,227,846	

2 支出の部

(単位 円)

科 目	予算額		決算額		摘 要
		うち補助対象額		うち補助対象額	
報償費	526,000	200,000	400,000	400,000	出演者出演料：指揮者 7万円、ピアノ 5万円、フルート・サクソ・團長 各4万円、ササ娘・軍人 各3万円、練習ピアニスト2名・合唱指導・朗読者 各2万円 スタッフ謝礼：舞台監督2万円
印刷製本費	150,000		161,316		チラシ・ポスター製作費：95,200円 チケット製作費：9,000円 プログラム製作費：35,000円 デザイン費：20,000円 コピー費：1,860円 DM等郵送費：256円
委託費	350,000		350,000		照明：15万円 音響：10万円 制作：10万円
使用料・賃借料	190,000		49,600		施設使用料：キラリふじみ 40,550円、ふじみ野 交流センター 1,400円 販売委託費：7,650円
消耗品費	30,000		4,104		録画用CD-R：2,268円 封筒：864円 インカートリッジ：216円 ケーティング用品：756円
著作権料	50,000		40,158		JASRAC
舞台・衣装費	0		169,009		出演者エフォーム：135,872円 舞台衣装：軍人 21,678円、團長 11,459円
役務費	34,000		31,835		会議費等
食糧費	50,000		20,528		お弁当、ケータリング、飲み物代
その他これに類する経費	20,000		1,296		振込手数料：432円×3件
合 計	1,400,000	200,000	1,227,846	400,000	